

PRESTO® A30

6Lのガラス反応容器を +100°Cから+20°Cに冷却運転

目的：

このケーススタディでは、PRESTO® A30 と6Lのガラス反応容器を接続し冷却能力試験を行います。
 PRESTO® A30には2mのメタルホースを2本、接続します。
 PRESTO® A30 は+100°Cから+20°Cに冷却するプログラムで運転を行います。

環境：

室温	+20 °C
湿度	45 %
電源	230 V / 50 Hz

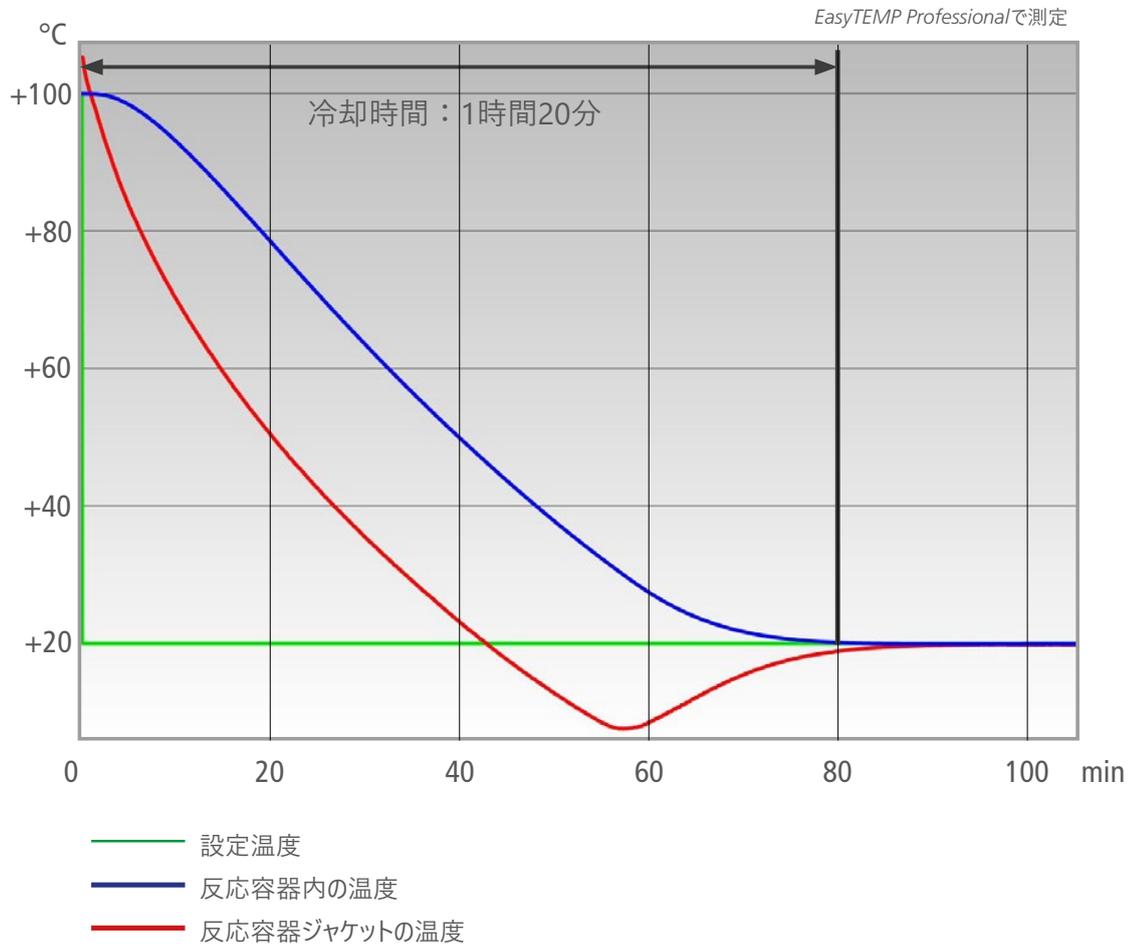
試験条件：

使用機種	PRESTO® A30
冷却能力	+20 °C 0.5 kW 0 °C 0.4 kW -20 °C 0.2 kW
加熱容量	2.7 kW
バンドリミット	設定していません
ポンプ圧	0.5 bar
循環液	ユラボ社製 サーマルHL60
反応容器	6Lガラス製反応容器(QVF) (容器内にはサーマルHL60を5L充填しています)
ジャケット容量	4.5 L
温度制御	外部制御(ICC)



試験結果：

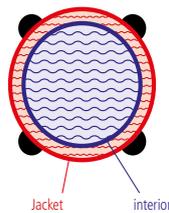
PRESTO® A30の冷却時間はアンダーシュートなしで、+100°Cから+20°Cまで1時間20分でした。



情報：

容器の保護：
"バンドリミット"機能
(上記参照)で、
容器内部温度と
ジャケットの温度差を
制限して設定する事が
できます。

Profile of reactor



情報：

Pt100温度センサーは
PTFEコーティングに
することも可能です。

